



戦略的提携について

2016年7月18日

ソフトバンクグループ株式会社

代表取締役社長 孫 正義

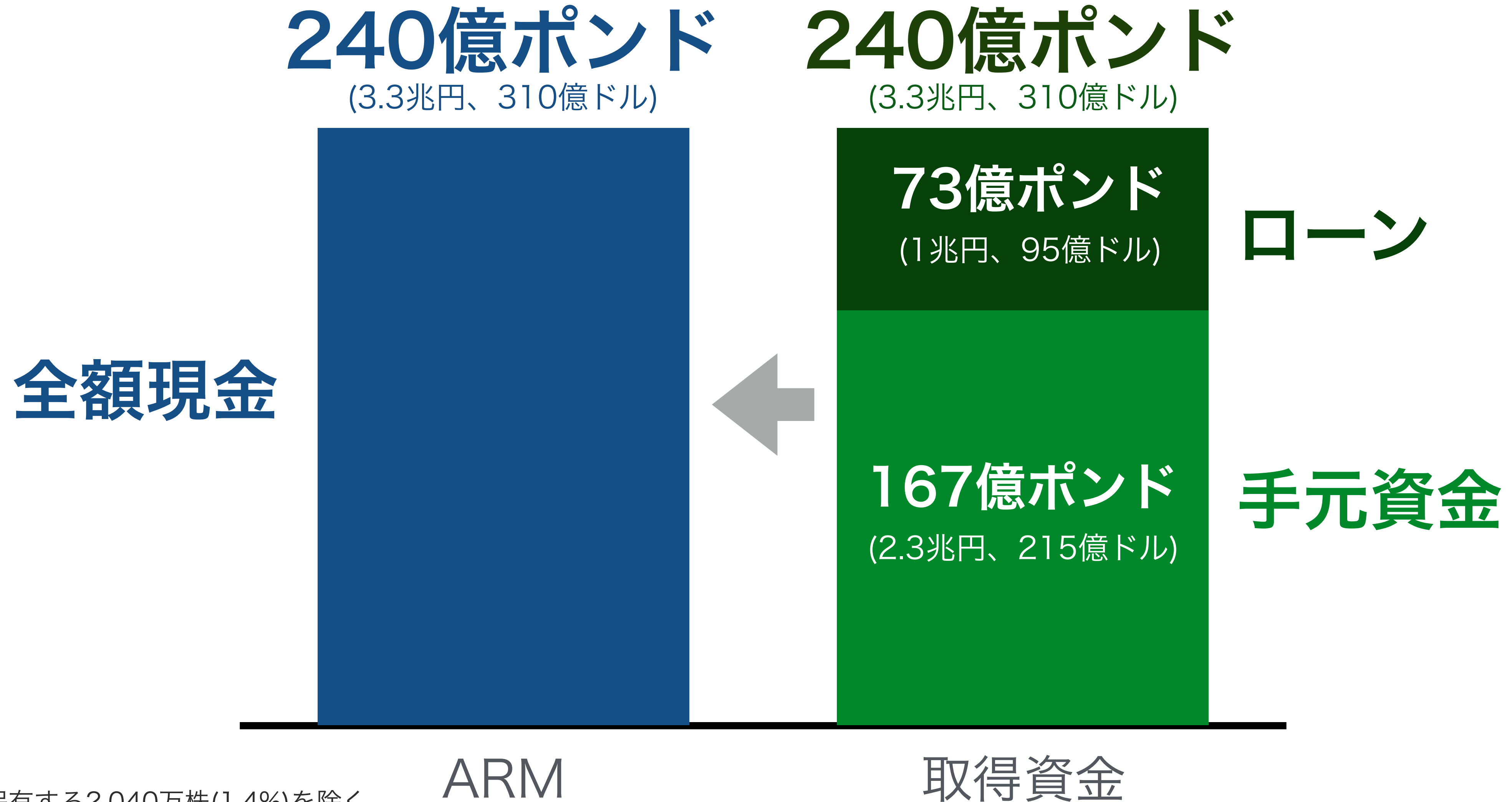
取引概要

取引概要

ARM株式の100%を取得

総額: 243億ポンド
(3.3兆円、314億ドル)*

買収総額



ソフトバンクが保有する2,040万株(1.4%)を除く

主な取引条件

1 1株当たり取得価格¹: 1,700ペンス

2 取締役会は全会一致で支持; ARM経営陣の支持

3 ソフトバンクは買収資金を全額確保済

4 スキーム・オブ・アレンジメント²

1. ARM株主は中間配当3.78ペンスも受領

2. スキームオブアレンジメントの効力が生じるためには、イングランドの裁判所が招集するARMの株主総会に出席する株主（出席して直接議決権を行使するかまたは委任状により議決権を行使するかを問いません。）の過半数、かつ額面価格において75%以上を表章する株式に係る議決権による賛成をもって承認されなければなりません。

スケジュール

アナウンス
(7月18日)

スキームに関わる
書面の公表

裁判所認可
及び株主総会
.....
スキームに関わる
認可・承認の申請

スキームの効力発生

取引の狙い

マーケットリーダー

ARMは独自の基盤技術を保有

成長ポテンシャル

巨大市場: モバイル、エンタープライズ、IoT

当社の戦略に適合

大きな長期的潮流に投資

ARMの将来

非公開企業として、長期的・戦略的に投資

ARMステークホルダーの皆様へ

1 英国に対する強い信頼

2 ARMの組織とケンブリッジ本社を維持

3 ARMの英国での雇用を5年間で倍増

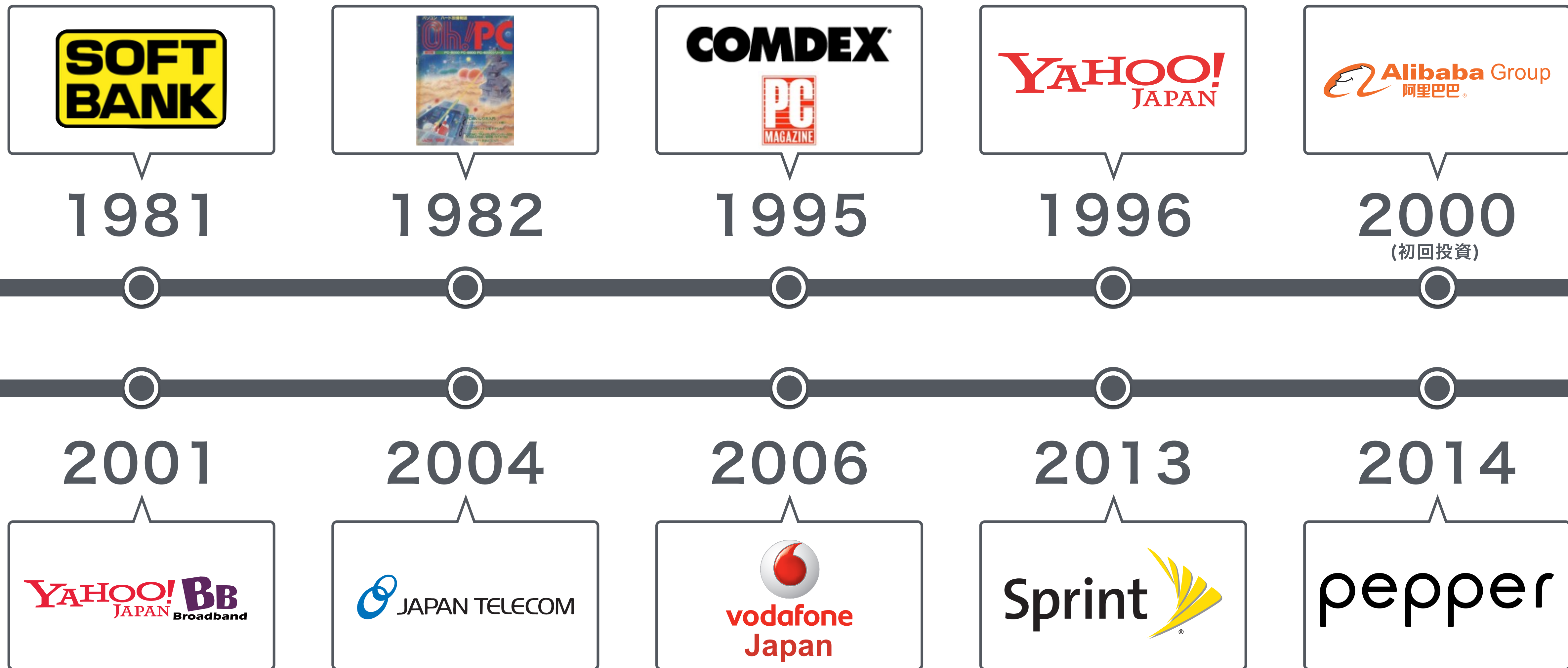
4 ARMの中立性と独立性を維持



当社紹介

情報革命で人々を幸せに

当社の歴史 = 情報革命の歴史



連結業績

(2016年3月期)

売上	9.2兆円
EBITDA	2.4兆円
営業利益	1.0兆円
時価総額*	7.2兆円

4,000万

1981

2016年3月期

1兆円

劇的に成長

ソフトバンクのビジネスモデル

 **SoftBank**
(日本の通信企業)

Sprint 
(米国の通信企業)

YAHOO!
JAPAN
(日本最大のインターネット企業)

事業資産

 **Alibaba Group**
阿里巴巴®

snapdeal

coupan

tokopedia

 **OYO**

 **OLA**

Grab

 **滴滴**
滴滴一下 美好出行

SoFi 

hike
MESSENGER

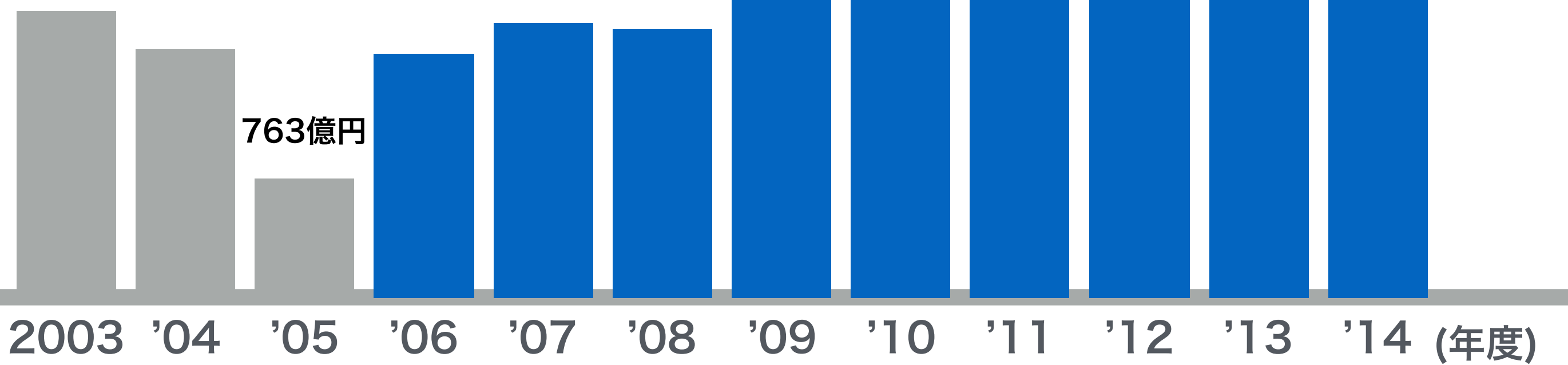
投資資産

(革新的なインターネット企業群)

モバイル営業利益

億円

6,953億円

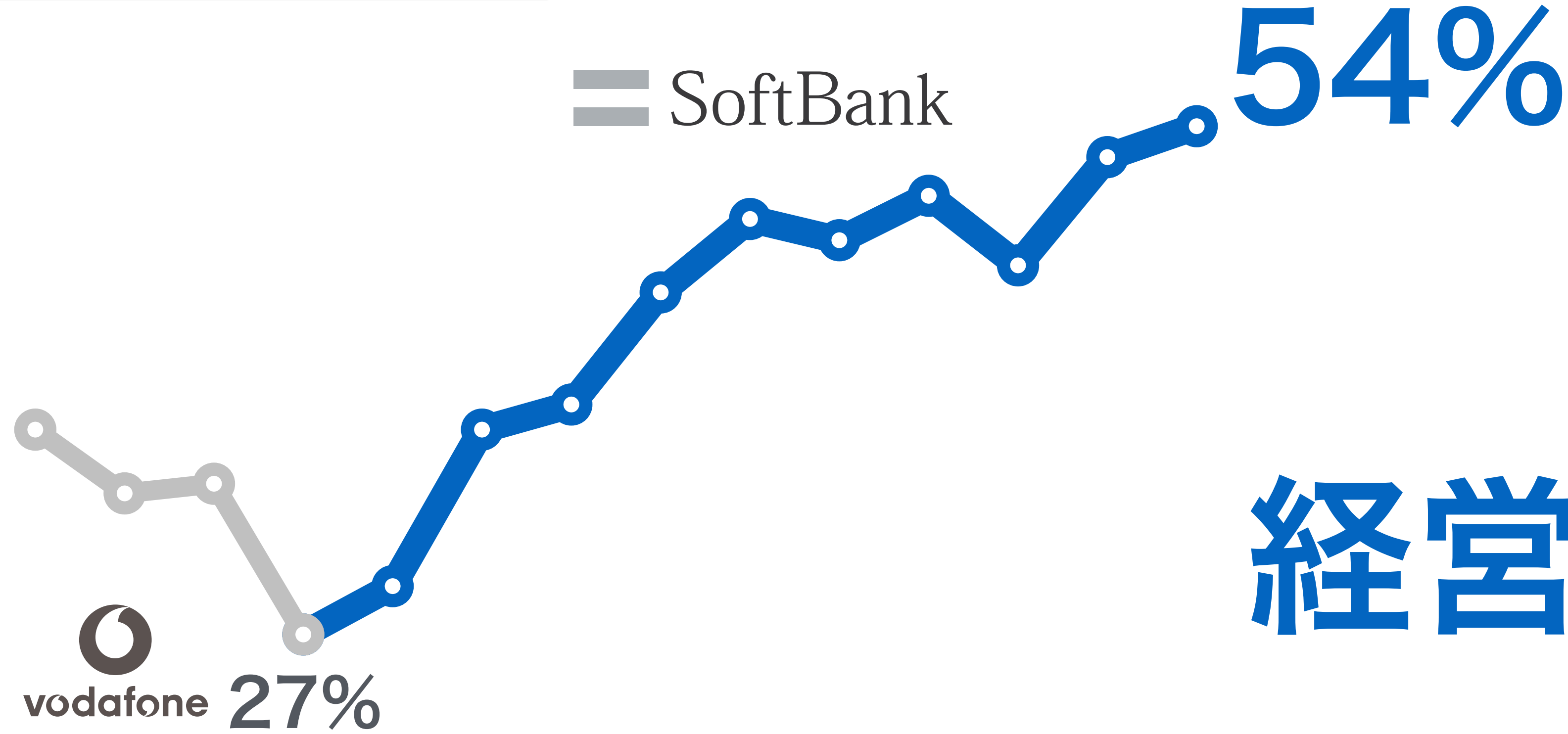


V字回復

日本基準

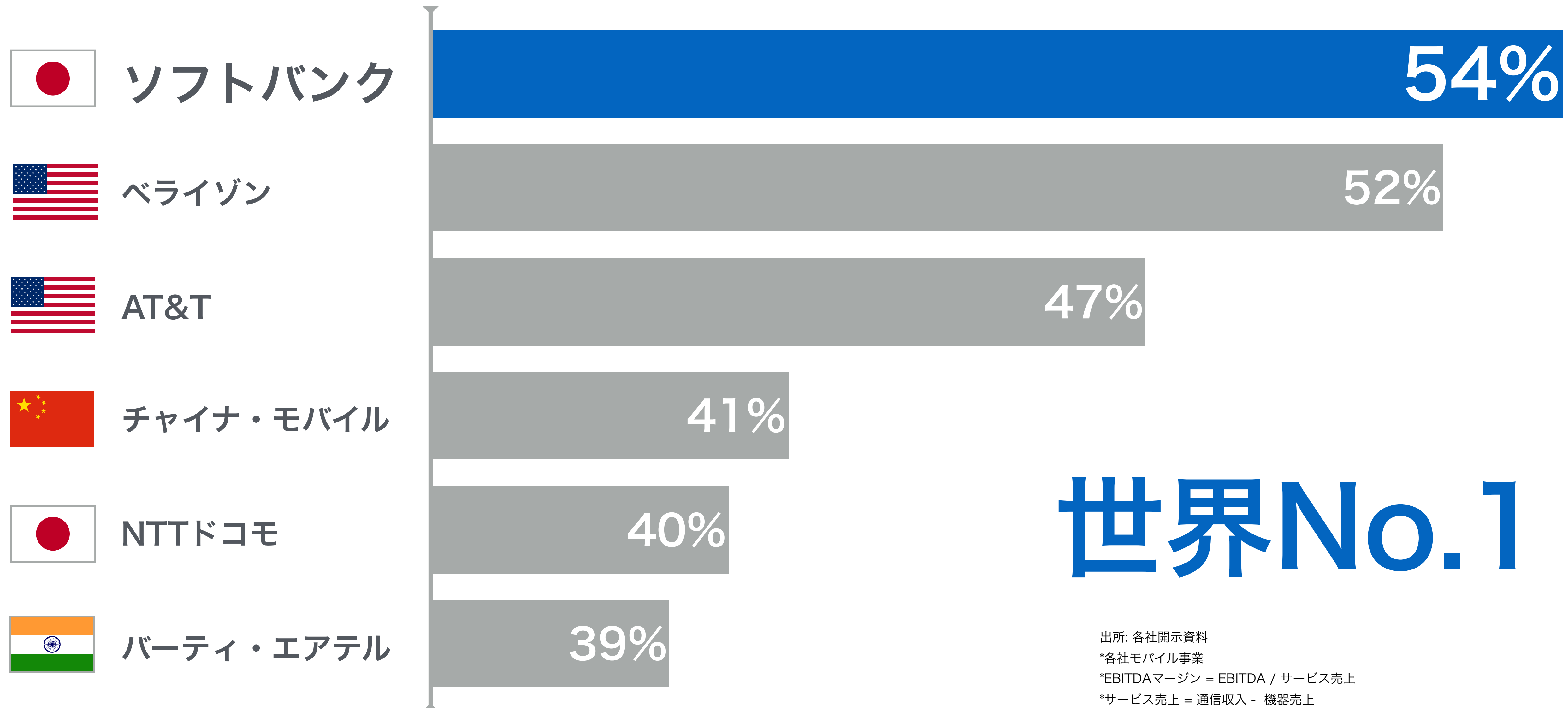
IFRS

※2006-2011年度：移動体通信事業の営業利益
2012-2014年度：移動通信事業のセグメント利益



経営効率を追求

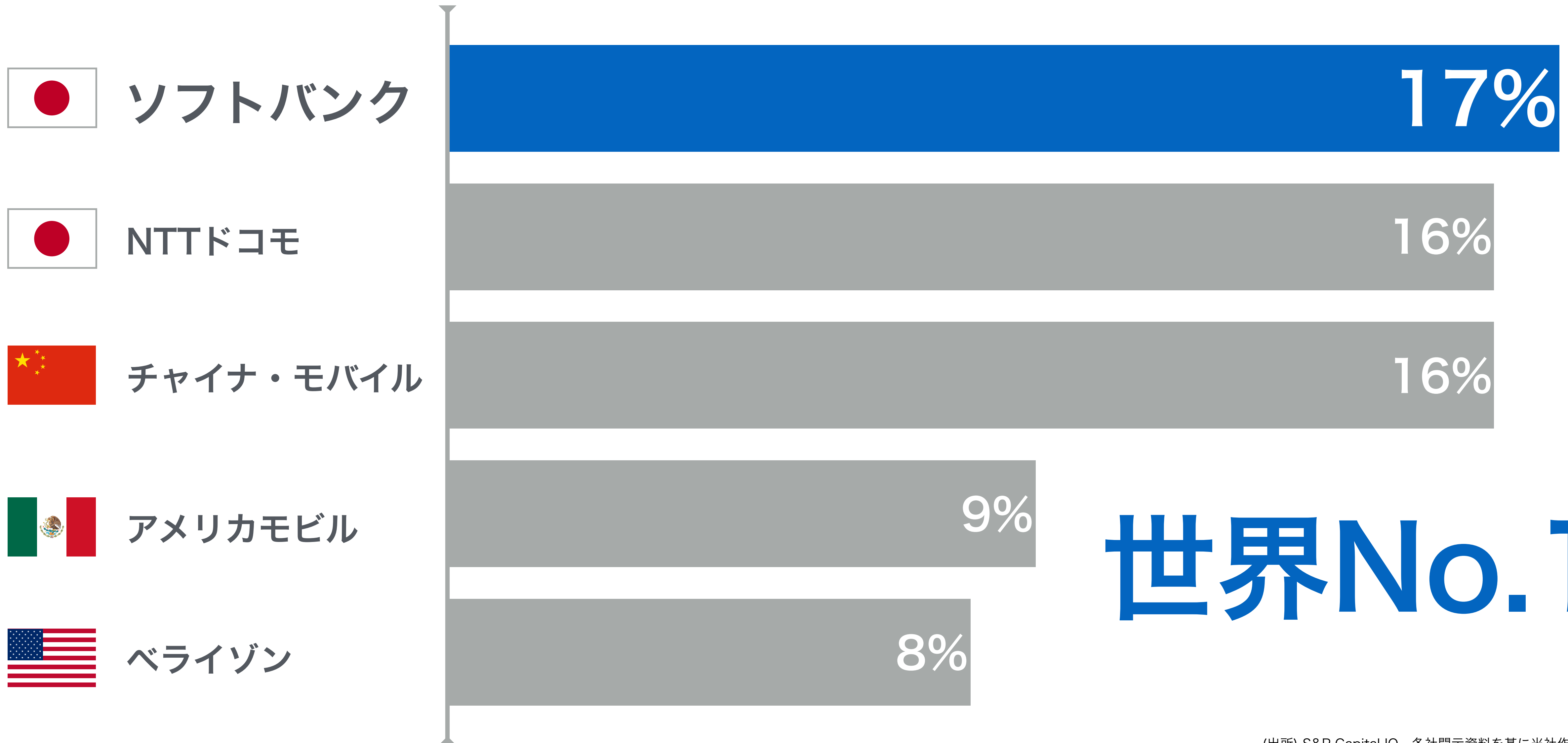
*モバイル事業
*EBITDAマージン = EBITDA / サービス売上
*サービス売上 = 通信収入 - 機器売上



世界No.1

出所: 各社開示資料
*各社モバイル事業
*EBITDAマージン = EBITDA / サービス売上
*サービス売上 = 通信収入 - 機器売上
*バーティ・エアテル: 9ヶ月分 (2015年4月 - 12月)、インドおよび南アジア
(為替) 1ドル = 115.35円, 1元 = 17.6円, 1ルピー = 1.72円

FCF/売上高比率 (2015年度)

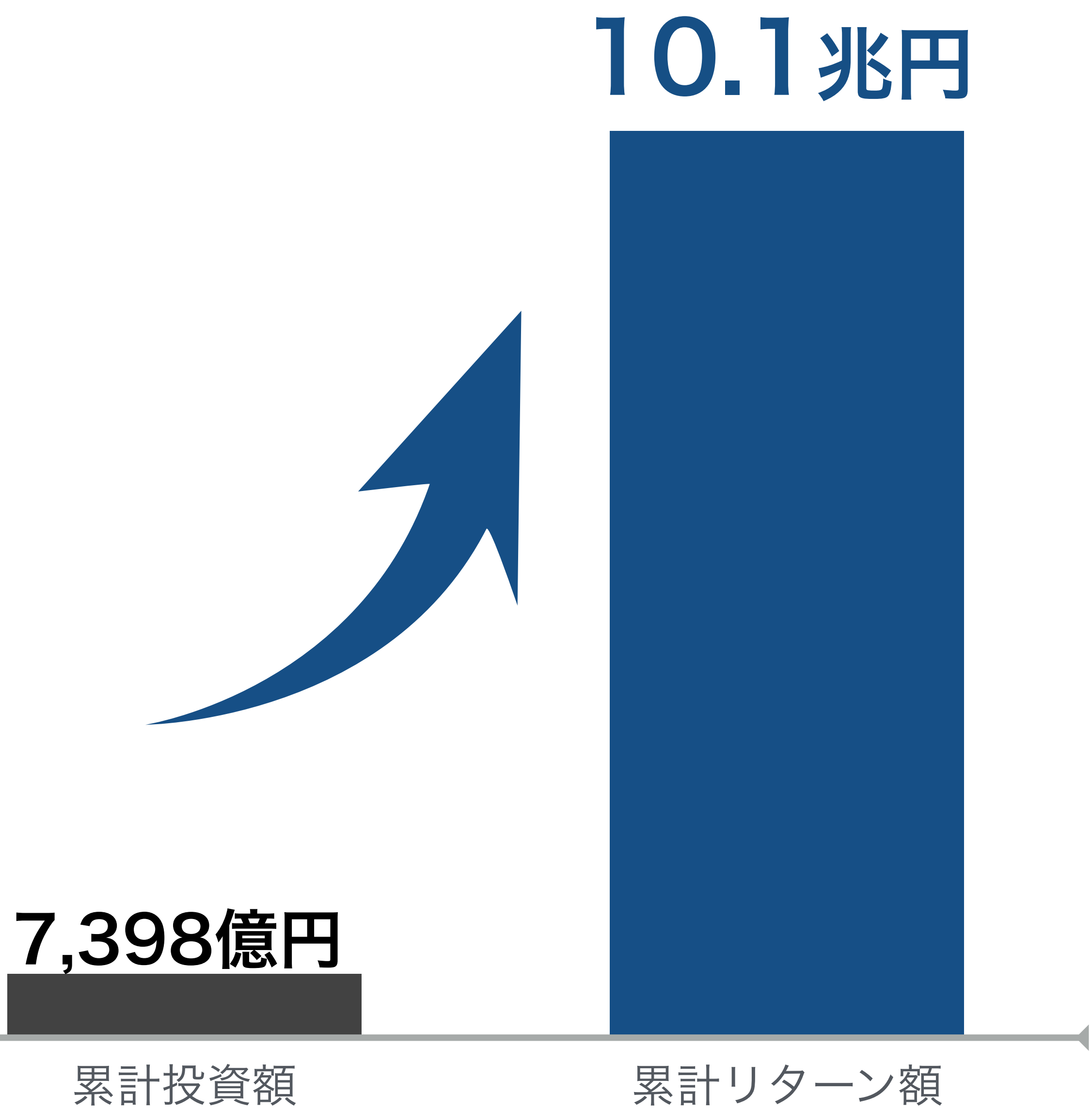


世界No.1

[フリーキャッシュフロー(FCF)：税金、設備投資、周波数獲得費用、M&A資金支払後]

(出所) S&P Capital IQ、各社開示資料を基に当社作成
NTTドコモは資金運用に伴う増減を除くFCF
1ドル=115.35円、1RMB=17.6円、1MXN=6.4円で換算

投資実績



IRR 44%

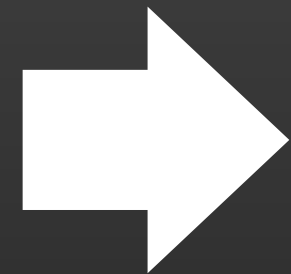


テクノロジーのパラダイムシフト

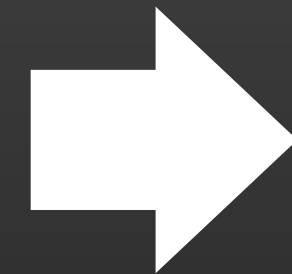
テクノロジーのパラダイムシフト



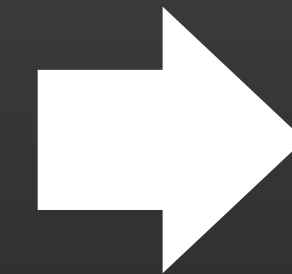
PC
(ソフト流通)



PC
インターネット



PC
ブロードバンド



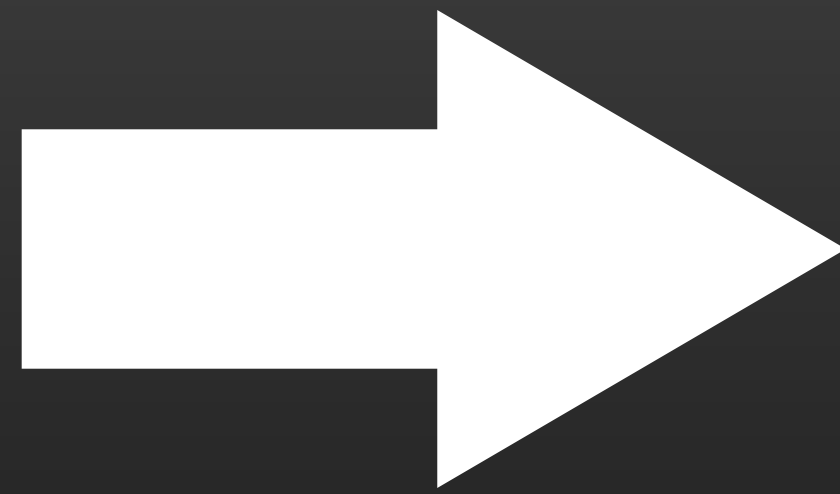
モバイル
インターネット

情報革命を牽引


次のパラダイムシフト



モバイル
インターネット



IoT (Internet of Things)



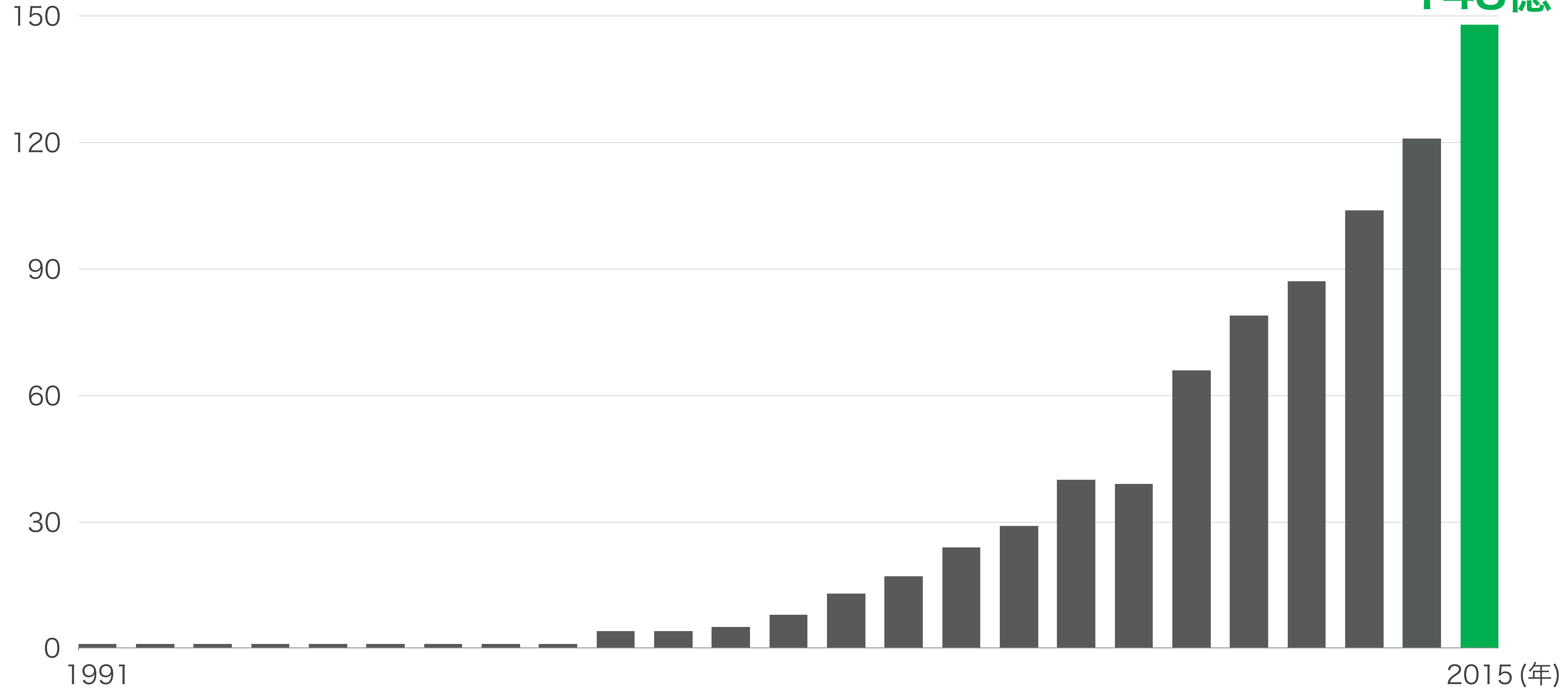
IoT時代のキードライバー

ARM

長期にわたるパートナーシップを構築



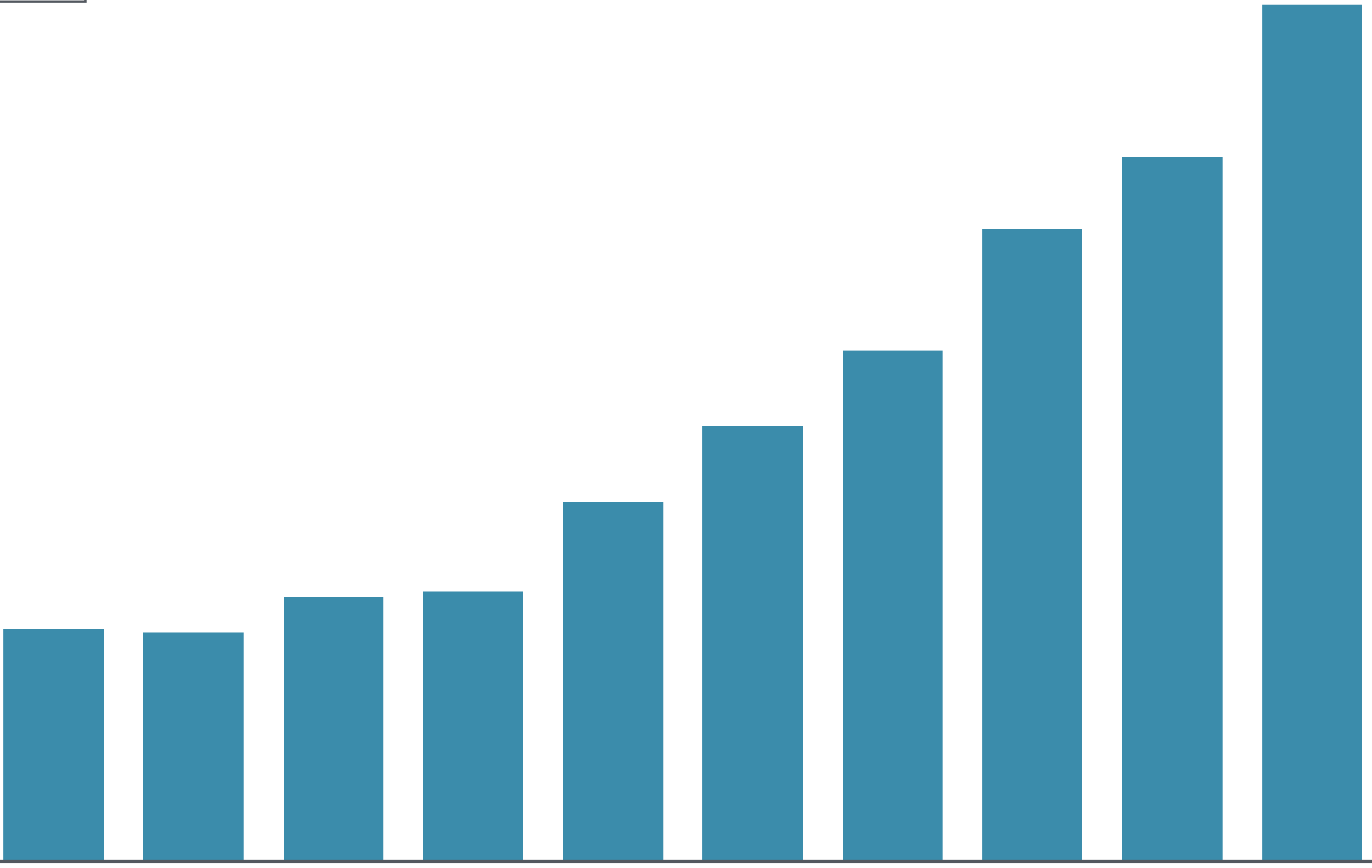
(億個) ARMベースチップ(SoC) 出荷数



売上高

日本円

1,791億円 (15億ドル)



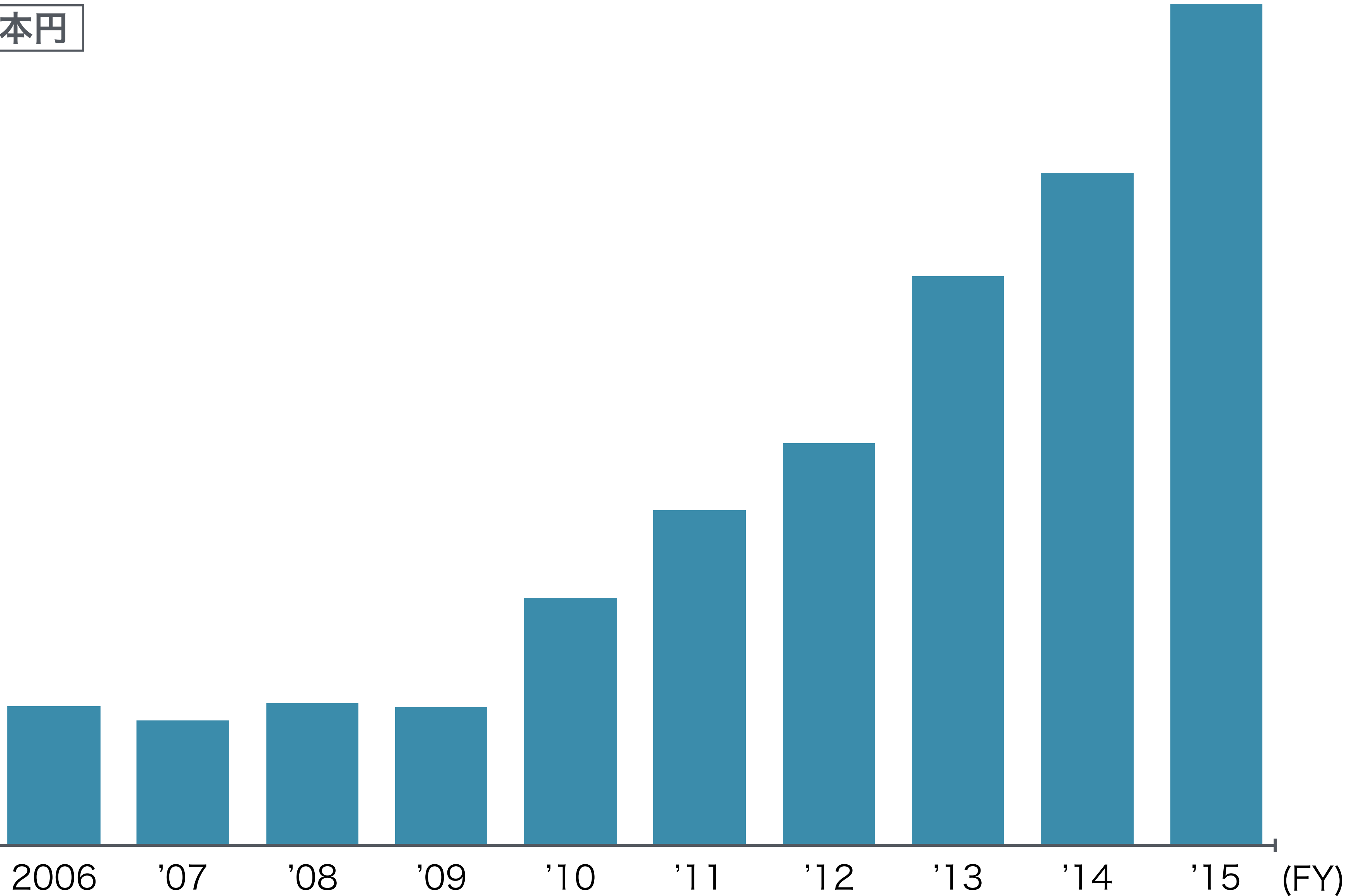
2006 '07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14 '15 (FY)

1ポンド = 184.95円 (2015年1-12月 期中平均レート)
(出所) ARM Holdings 開示資料を基に当社作成

税引後利益

日本円

578億円 (6.6億ドル)



1ポンド = 184.95円 (2015年1-12月 期中平均レート)
(出所) ARM Holdings 開示資料を基に当社作成

ARMテクノロジー

より多くのARMテクノロジーが先進的製品に採用

- プロセッサ・マルチメディアIPからソフトウェアまで

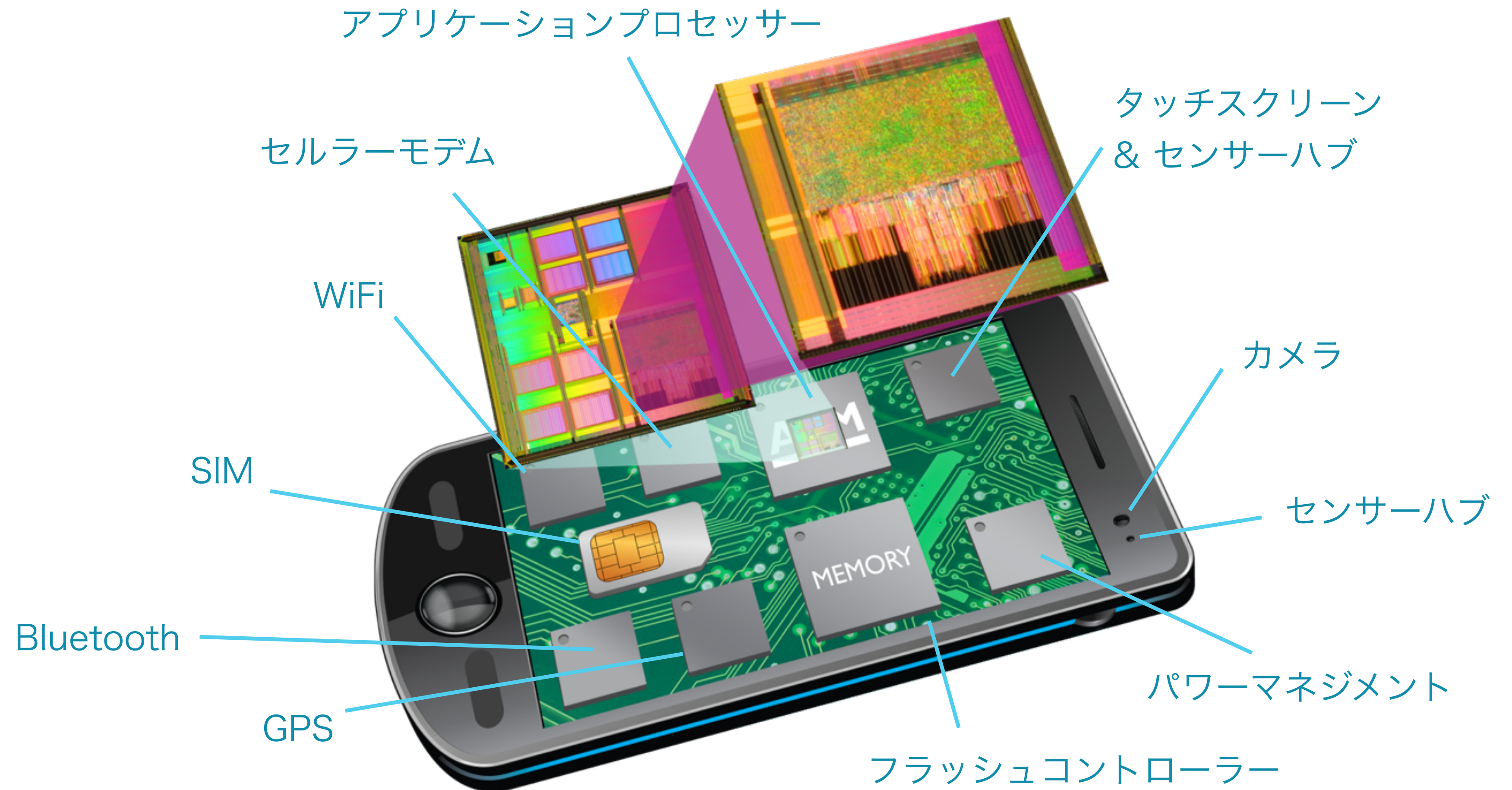
ARM® TRUSTZONE®
System Security

ARM® ARTISAN®
Physical IP

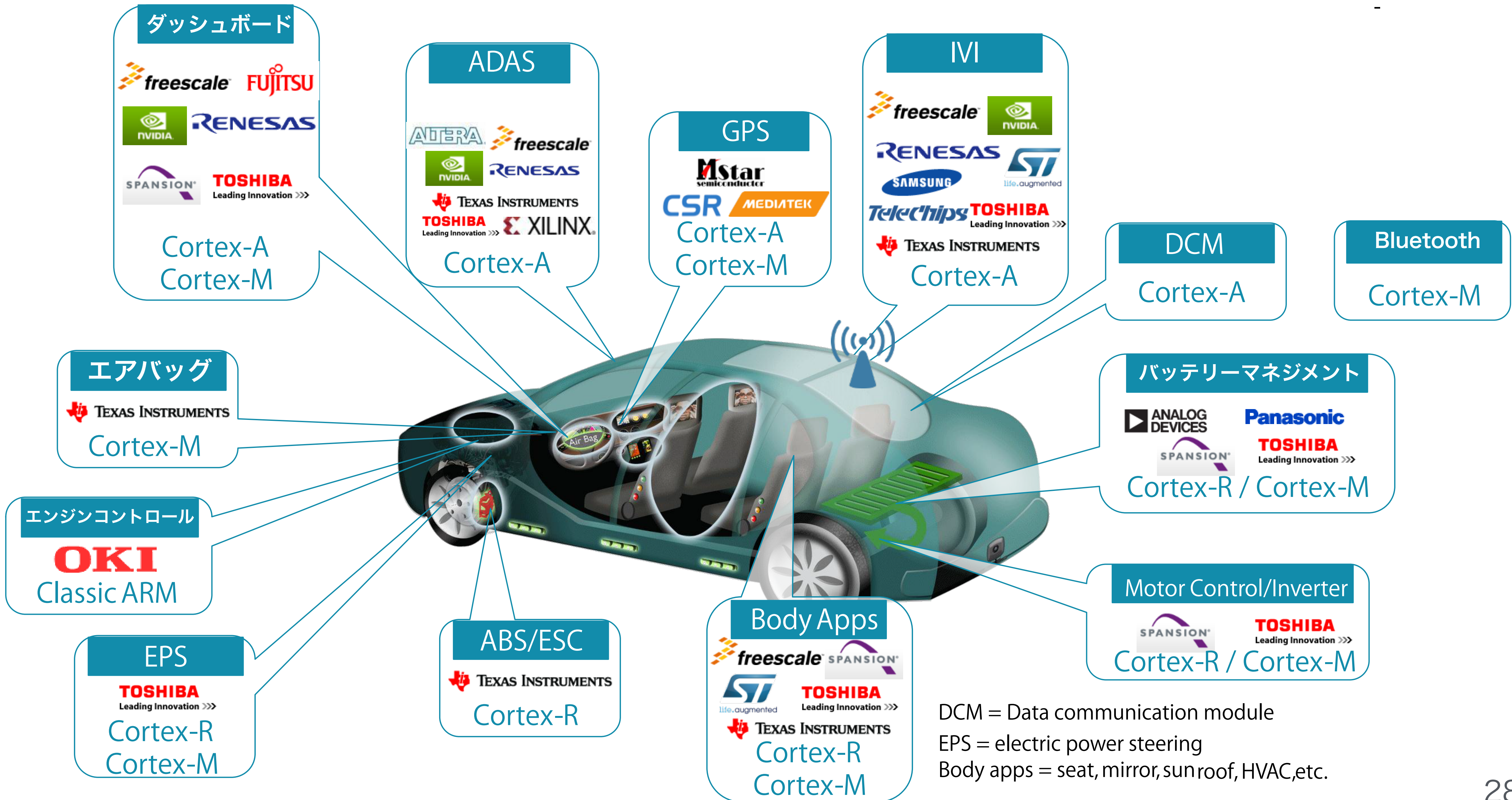
ARM® MALI™
Visual Technology

ARM® CORTEX®
Processor Technology

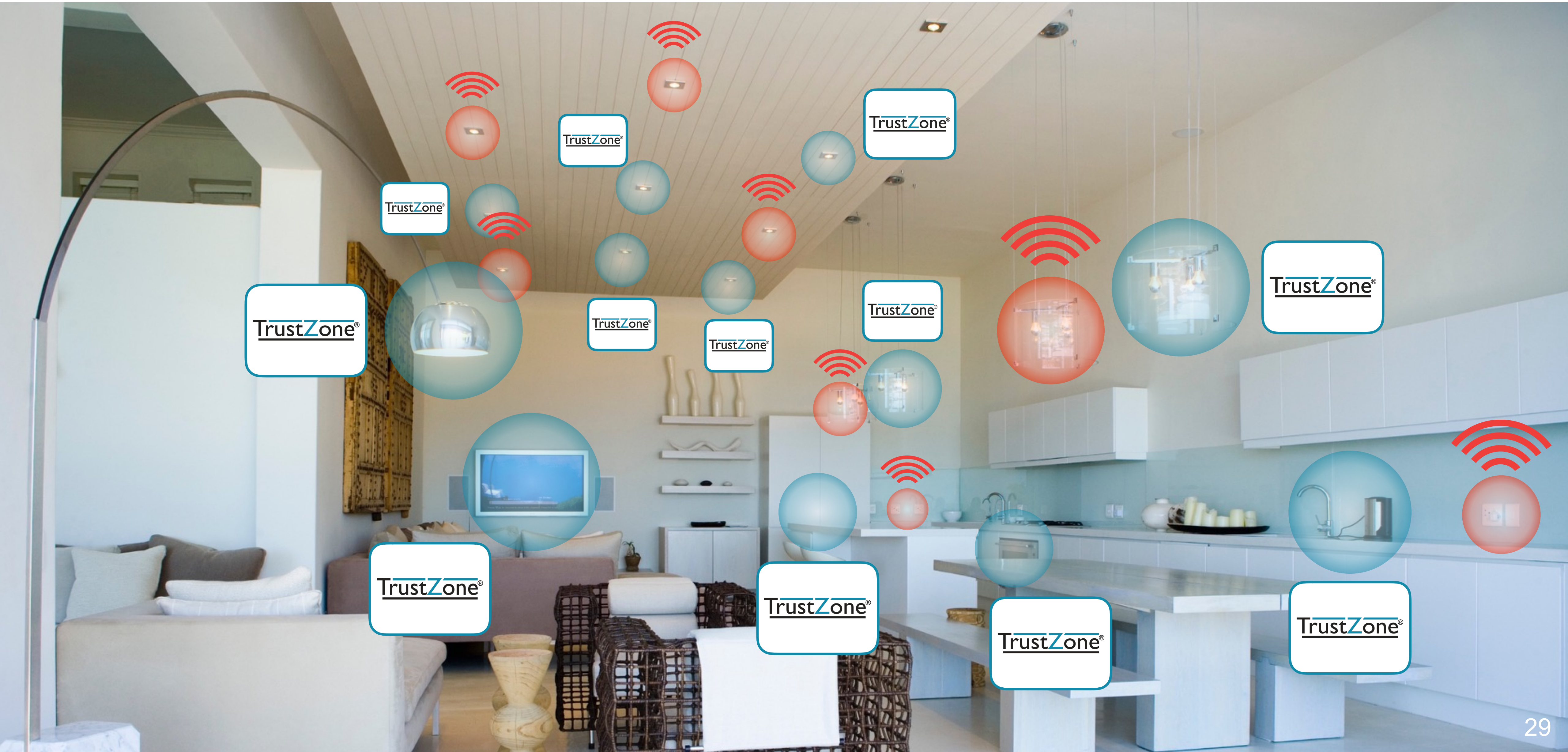
ARM® CORELINK™
Processor System IP



自動車領域における成長機会



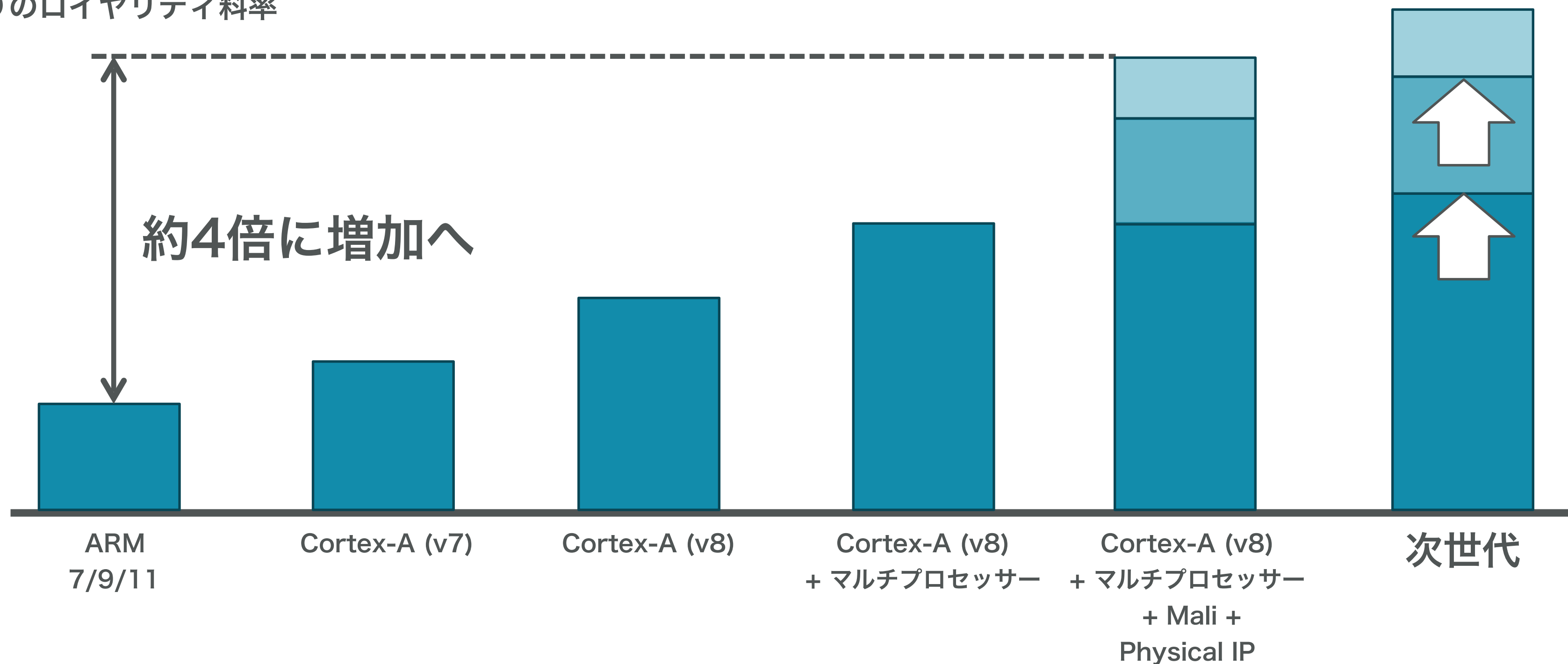
IoTにセキュリティは不可欠



高付加価値のチップを提供

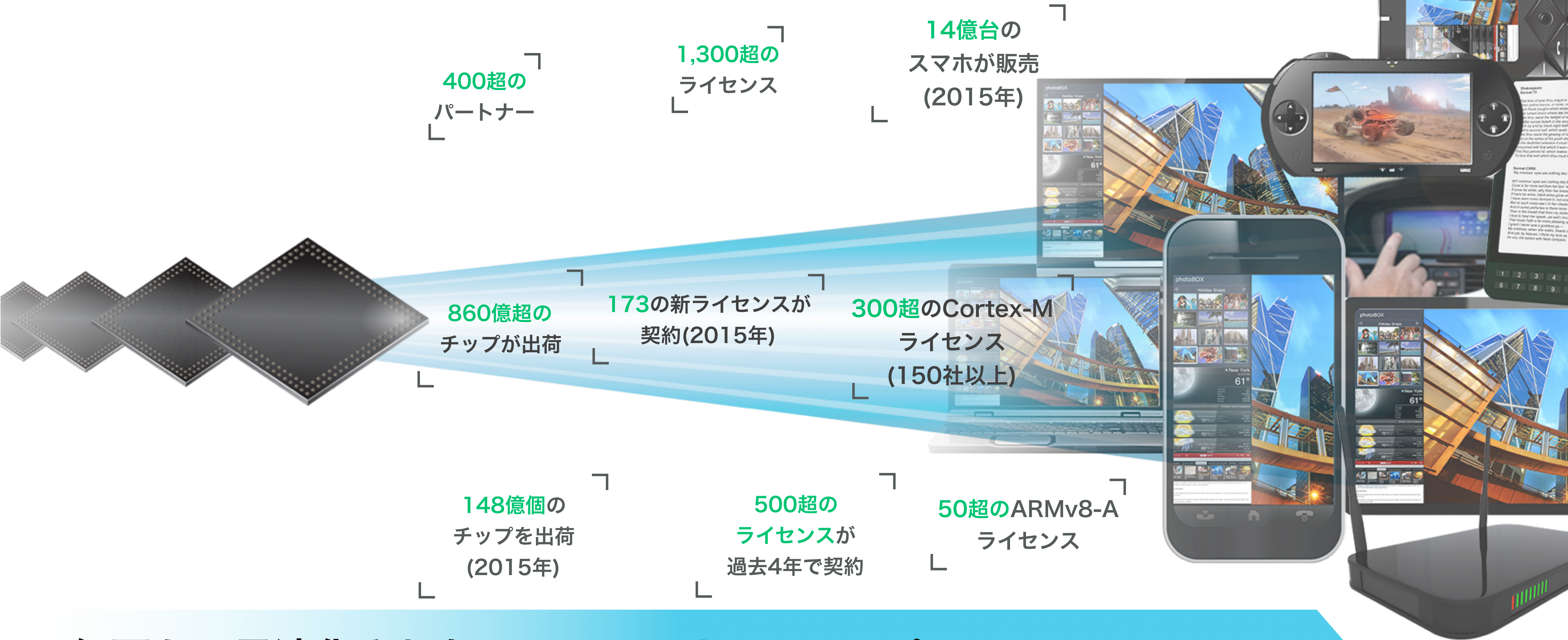
- 先進的テクノロジーを開発、より多くの価値を提供し、より高いロイヤリティ料率へ
 - より高機能なプロセッサにより高いロイヤリティ料を獲得
 - ARMv8-Aアーキテクチャのより高いロイヤリティ
 - マルチプロセッサ – ワンチップ当たり8コアから256コアへ
 - MaliグラフィックIPとPhysical IPが浸透

チップ当たりのロイヤリティ料率



イノベーションの源泉

ARM



何百もの最適化されたシステム・オン・チップ・ソリューション

ARMの対象市場(2015年 / 2020年)



アプリケーション	チップの機能	2015年				2020年		
		デバイス 出荷数	チップ 出荷数	ARM チップ	マーケット シェア	デバイス 出荷数	チップ 出荷数	チップの 年平均成長率
モバイル コンピューティング*	アプリケーションプロセッサ	1,800	1,800	1,600	>85%	2,400	2,400	+6%
	コネクティビティ&コントロール		11,000	4,000	37%		16,000	+6%
家電**	アプリケーションプロセッサ	3,600	1,000	700	70%	5,200	1,700	+7%
	コネクティビティ&コントロール		8,000	3,000	40%		10,000	+5%
エンタープライズ インフラ	サーバー	300	22	>0	<1%	400	27	+4%
	ネットワーク: インフラ		140	20	15%		180	+5%
	ネットワーク: ホーム&オフィス		700	200	30%		780	+4%
自動車	アプリケーションプロセッサ	90	68	65	>95%	100	450	+34%
	コントロール		2,700	200	7%		3,500	+5%
エンベデッド インテリジェンス	アプリケーションプロセッサ		500	350	70%		1,000	+15%
	コネクティビティ		600	300	50%		5,000	+53%
	コントロール		20,000	4,400	22%		30,000	+8%
総数 (百万個)			46,500	14,800	32%		71,000	+9%

* スマホ、タブレット、ノートPCを含む

** 音声通話専用携帯電話、デスクトップPC、コンピューター周辺機器、ウェアラブル、白物家電等を含む

出所: Gartner、WSTS、ARM予想

モバイルコンピューティング

>85%
2015年シェア

- スマートフォン、タブレット、ノートPC
- アプリケーションプロセッサ、モデム、通信、タッチスクリーン、イメージセンサー
- アプリケーションプロセッサ:
より高いチップロイヤリティの得られるARMテクノロジーの割合を増加
(ARMv8-A・オクタコア・グラフィック・Physical IP)

エンタープライズ インフラ

15%
2015年
ネットワークインフラシェア

- 基地局、ルーター、スイッチ、クラウド・データセンター用サーバー
- 増大するデータに遅延なく対応するためのネットワーク進化:
仮想化、統合化、プログラマビリティ
- 多数の主要チップベンダーがARMベースの製品を発表

エンベデッド インテリジェンス

25%
2015年シェア

- 自動車、白物家電、ウェアラブル機器、産業用スマートデバイス、ユーティリティ
- マイクロコントローラー、スマートカード、組込通信チップ
- 200社が組込情報デバイス用としてARMプロセッサを契約

モバイルコンピューティング



400億ドル
市場規模 2020年

デバイスあたりの価値拡大に投資

- より先進的なプロセッサ
- 提供機能の拡大
(グラフィック、ビデオ、ディスプレイ、相互接続)
- マーケットリーダーとの協力強化

エンタープライズ インフラ



360億ドル
市場規模 2020年

マーケットシェアの獲得加速に投資

- 新たなソフトウェアのエコシステム
- 導入サポート

エンベデッド インテリジェンス

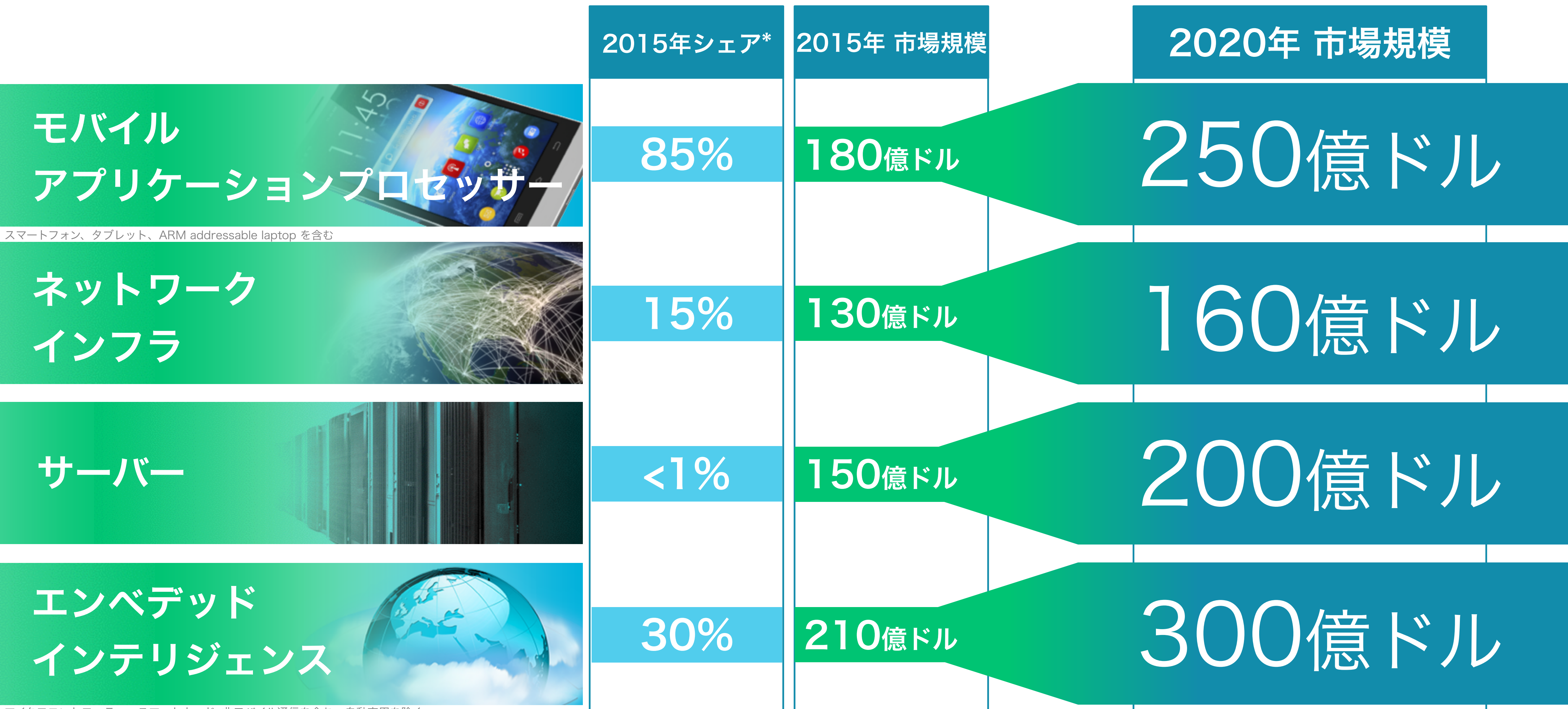


450億ドル
市場規模 2020年

新しい収入源創出に投資

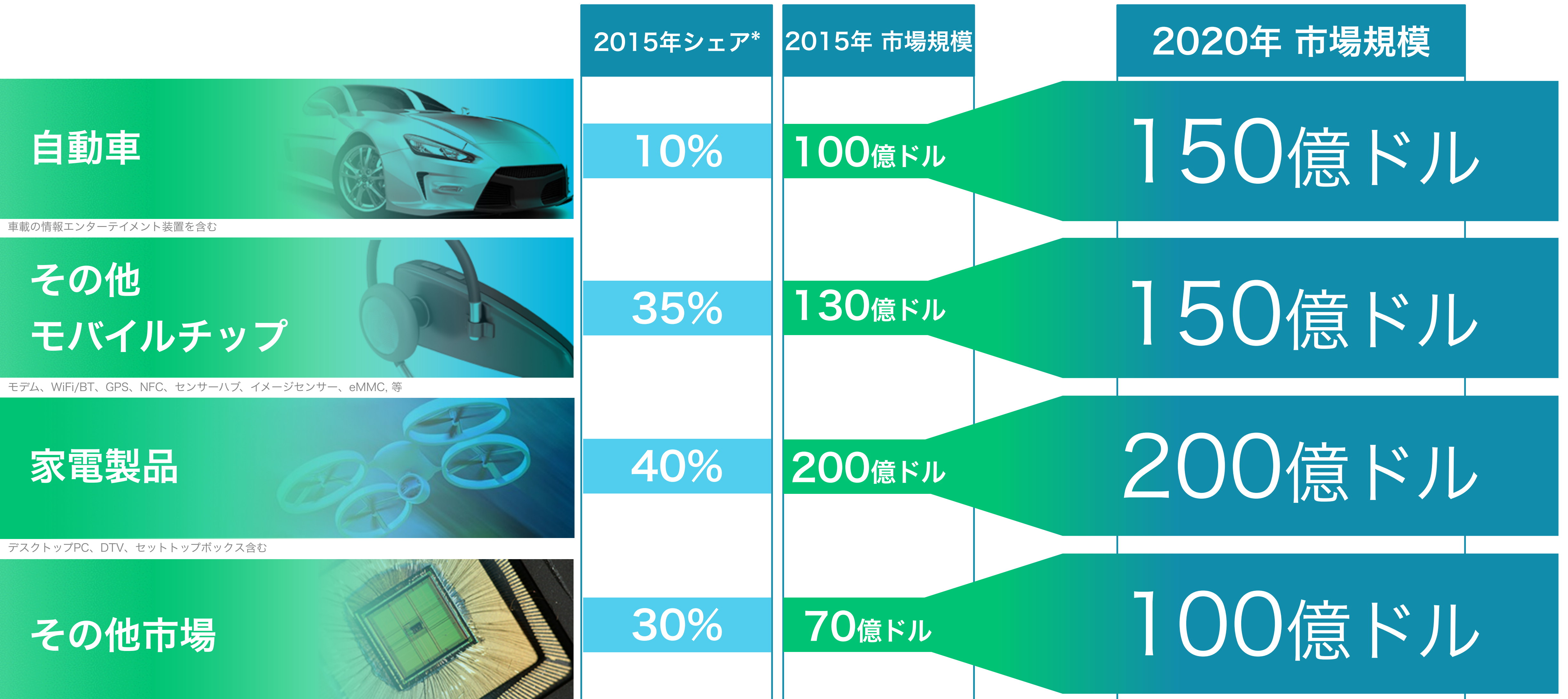
- セキュアな接続デバイス向けの新しいアーキテクチャ
- 提供機能の拡大
- 新しい市場機会の拡大

拡大するARMの成長性



* 2015年のARM市場規模(ボリュームベース) † 市場規模: Total Available Market

拡大するARMの成長性



* 2015年のARM市場規模(ボリュームベース) † 市場規模: Total Available Market

ARM Connected Community - 1,300超のパートナー



シリコンパートナー



デザインサポートパートナー



ソフトウェア、トレーニング&コンソーシアムパートナー



既存戦略の加速をサポート

共通のビジョン

中立性の維持

グローバル連携

イノベーションへの
投資

次のパラダイムシフトを牽引

 SoftBank

+

ARM

まとめ

将来的な成長の柱へ

戦略的投資

英国に長期的コミット

情報革命で人々を幸せに



Disclaimer

Overseas Jurisdictions

Not for release, publication or distribution (in whole or in part, directly or indirectly) in, into or from any jurisdiction where to do so would constitute a violation of the relevant laws or regulations of such jurisdiction.

Forward-looking statements

This presentation (including information incorporated by reference in this presentation), oral statements made regarding the transaction, and other information published by SoftBank and ARM contain statements which are, or may be deemed to be, “forward looking statements”. Such forward looking statements are prospective in nature and are not based on historical facts, but rather on current expectations and on numerous assumptions regarding the business strategies and the environment in which the SoftBank Group will operate in the future and are subject to risks and uncertainties that could cause actual results to differ materially from those expressed or implied by those statements. The forward looking statements contained in this presentation relate to the SoftBank Group’s future prospects, developments and business strategies, the expected timing and scope of the transaction and other statements other than historical facts. In some cases, these forward looking statements can be identified by the use of forward looking terminology, including the terms “believes”, “estimates”, “plans”, “prepares”, “anticipates”, “expects”, “is expected to”, “is subject to”, “budget”, “scheduled”, “forecasts”, “intends”, “may”, “will” or “should” or their negatives or other variations or comparable terminology. By their nature, forward-looking statements involve risk and uncertainty because they relate to events and depend on circumstances that will occur in the future. If any one or more of these risks or uncertainties materialises or if any one or more of the assumptions prove incorrect, actual results may differ materially from those expected, estimated or projected. Such forward looking statements should therefore be construed in the light of such factors. Neither SoftBank nor ARM, nor any of their respective associates or directors, officers or advisers, provides any representation, assurance or guarantee that the occurrence of the events expressed or implied in any forward looking statements in this presentation will actually occur. Given these risks and uncertainties, potential investors should not place any reliance on forward looking statements.

The forward looking statements speak only at the date of this presentation. SoftBank and ARM expressly disclaim any obligation to update such statements other than as required by law or by the rules of any competent regulatory authority, whether as a result of new information, future events or otherwise.